

科目名	情報処理試験講座Ⅰ(春向) ITパスポート試験対策										
科目名(英)											
単位数	4単位			時間数		60時間		担当者		毛利俊司、山田貴文	
実施年度	2019			実施時期		後期		実務家教員 担当科目		○	
対象学科・学年	コンピュータシステム科1年、ゲームクリエイタ科1年、システムエンジニア科2年										
授業概要	ITパスポート試験合格を目標に、ストラテジ分野、マネジメント分野、テクノロジー分野の学習を行っていく。										
授業形式	講義：○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
	○	○				ストラテジ分野、マネジメント分野、テクノロジー分野を学習し、ITパスポート試験試験の合格を目標とする。					
テキスト・教材 参考図書	でるとこだけ！ITパスポート2020年版(翔泳社) ITパスポート試験過去問題(プリント)										
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
	1	ITパスポート試験 過去問対策(H30年秋)-1						テキストの「ITパスポートの概要」を読んでおくこと			
	2	ITパスポート試験 過去問対策(H30年秋)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	3	ITパスポート試験 過去問対策(H30年秋)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	4	ITパスポート試験 過去問対策(H30年秋)-4						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	5	ITパスポート試験 過去問対策(H30年秋)-5						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	6	ITパスポート試験 過去問対策(H30年秋)-6						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	7	ITパスポート試験 過去問対策(H30年秋)-7						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	8	ITパスポート試験 過去問対策(H30年春)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	9	ITパスポート試験 過去問対策(H30年春)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	10	ITパスポート試験 過去問対策(H30年春)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	11	ITパスポート試験 過去問対策(H30年春)-4						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	12	ITパスポート試験 過去問対策(H30年春)-5						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	13	ITパスポート試験 過去問対策(H30年春)-6						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	14	ITパスポート試験 過去問対策(H30年春)-7						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	15	ITパスポート試験 過去問対策(H29年秋)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	16	ITパスポート試験 過去問対策(H29年秋)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	17	ITパスポート試験 過去問対策(H29年秋)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	18	ITパスポート試験 過去問対策(H29年秋)-4						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	19	ITパスポート試験 過去問対策(H29年秋)-5						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	20	ITパスポート試験 過去問対策(H29年秋)-6						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	21	ITパスポート試験 過去問対策(H29年秋)-7						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	22	ITパスポート試験 過去問対策(H29年春)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	23	ITパスポート試験 過去問対策(H29年春)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	24	ITパスポート試験 過去問対策(H29年春)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	25	ITパスポート試験 過去問対策(H29年春)-4						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	26	ITパスポート試験 過去問対策(H29年春)-5						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	27	ITパスポート試験 過去問対策(H29年春)-6						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	28	ITパスポート試験 過去問対策(H29年春)-7						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと			
	29	ITパスポート試験 過去問対策(eラーニング,H30年春秋)						H30年度の問題を、もう1度解いておくこと			
	30	ITパスポート試験 過去問対策(eラーニング,H29年春秋)						H29年度の問題を、もう1度解いておくこと			
		※授業内容は、4月1日時点での予定									
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験	◎		◎				80%			
	平常点(ミニテスト)	◎		◎				20%			
履修上の注意	自宅で必ず復習(今日解いた問題の見直し)を行うこと。										

科目名	EXCEL VBA						
科目名(英)							
単位数	1		時間数	16時間		担当者	山本 大輔
実施年度	2019年度		実施時期	2019・後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	コンピュータシステム科 2年						
授業概要	ビジネスの現場では必須の知識となっているEXCELではあるが、さらに柔軟な表利用を可能にするためにVBAを利用することも増えてきた。今回の授業では関数やマクロでは実現できない機能をVBAを利用し構築していくことを目標とする。						
授業形式	講義： △		演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					VBAの記述方法、文法を知る	
		○				VBAを使用した基礎的なモジュールの作成	
		○				入力操作と値の処理	
		○				ファイル操作処理	
テキスト・教材 参考図書	自作教材						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	VBA操作の概要				事前配布した資料を読む	
	2	VBAを使用した基礎的なモジュールの作成① 文法、記述				事前配布した資料を読む	
	3	VBAを使用した基礎的なモジュールの作成② 動作、デバッグ				事前配布した資料を読む	
	4	VBAIによる書式の操作				事前配布した資料を読む	
	5	入力操作と値の処理① 値の入力と処理				事前配布した資料を読む	
	6	入力操作と値の処理② 値の出力と保存				事前配布した資料を読む	
	7	シートの操作				事前配布した資料を読む	
	8	ファイルの操作				事前配布した資料を読む	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
評価方法	(1)授業の中で演習課題を4回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(演習)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	発表・作品		◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	卒業研究 I									
科目名(英)										
単位数	2			時間数	30時間			担当者	山本 大輔	
実施年度	2019			実施時期	後期			実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	コンピュータシステム科2年									
授業概要	2年間の専門教育の集大成として、個人またはチーム製作でアプリケーション開発の企画・設計・製造・テストを行い、最後に成果物に関するプレゼンテーションを行う。 この科目では主に設計を中心に行う。									
授業形式	講義：			演習：	○	実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
		○				卒業制作に関するアプリケーション設計を行う				
		○				卒業制作に関するアプリケーション作成を行う				
		○				作成したアプリケーションのプレゼンテーションを行う				
テキスト・教材 参考図書	なし									
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示		
	1	グループ製作のチーム・テーマ決め						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	2	グループ製作のチーム・テーマ決め						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	3	概要設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	4	概要設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	5	概要設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	6	概要設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	7	外部設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	8	外部設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	9	外部設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	10	外部設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	11	内部設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	12	内部設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	13	内部設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	14	内部設計フェーズ						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
	15	中間発表						チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う		
		※学習する分野の順番は、4月1日時点での予定								
評価方法	(1)毎回授業で扱うプリントや作文を提出し、添削後、評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	発表・作品		◎			◎		100%		
履修上の注意	全授業回数の3分の2以上の出席を満たさないものは、評価しないものとする。									

科目名	卒業研究Ⅱ				
科目名(英)					
単位数	6	時間数	90時間	担当者	山本 大輔
実施年度	2019	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	コンピュータシステム科2年				
授業概要	2年間の専門教育の集大成として、個人またはチーム製作でアプリケーション開発の企画・設計・製造・テストを行い、最後に成果物に関するプレゼンテーションを行う。 この科目では製作と最終プレゼンテーションに向けた発表準備を行う				
授業形式	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	○				目標
	○				卒業制作に関するアプリケーション設計を行う
	○				卒業制作に関するアプリケーション作成を行う
					作成したアプリケーションのプレゼンテーションを行う
テキスト・教材 参考図書	なし				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	制作フェーズに向けての役割決め、チーム別リスニング			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	2	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	3	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	4	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	5	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	6	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	7	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	8	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	9	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	10	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	11	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	12	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	13	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	14	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	15	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	16	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	17	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	18	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	19	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	20	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	21	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	22	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	23	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	24	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	25	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	26	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	27	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	28	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	29	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	30	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	31	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	32	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	33	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	34	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	35	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	36	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	37	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	38	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	39	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	40	制作フェーズ			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	41	最終プレゼンテーション準備			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	42	最終プレゼンテーション準備			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	43	最終プレゼンテーション準備			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	44	最終プレゼンテーション準備			チームでの役割分担を理解し授業外でも共有を行う
	45	最終プレゼンテーション			当日発表が滞滞に進むように準備しておく
		※学習する分野の順番は、4月1日時点での予定			
評価方法	(1)毎回授業で扱うプリントや作文を提出し、添削後、評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲
	発表・作品	◎			◎
履修上の注意	全授業回数の3分の2以上の出席を満たさないものは、評価しないものとする。				

科目名	Visual C#Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2		時間数	30時間		担当者	山本 大輔
実施年度	2019年度		実施時期	2019・後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	システムエンジニア科 コンピュータシステム科 2年						
授業概要	前期で学んだC#の基本的なプログラミングに加えて、応用的なプログラミングを学んでいく。 今回はWindowsフォームアプリケーションからADOを利用したデータベース操作の習得を目標とした授業を行う。						
授業形式	講義： △		演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					ADO、Accessについて理解する	
		○				Accessに接続してデータベースを操作するアプリケーションを作成する	
テキスト・教材 参考図書	自作資料(PowerPoint)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ADO、Accessの基本知識					
	2	フォームにテーブルの内容一覧を表示する					
	3	【演習】フォームにテーブルの内容一覧を表示する					
	4	フォームからテーブルの内容を更新する					
	5	【演習】フォームからテーブルの内容を更新する					
	6	フォームからテーブルの内容を追加する					
	7	【演習】フォームからテーブルの内容を追加する					
	8	フォームからテーブルの内容を削除する					
	9	【演習】フォームからテーブルの内容を削除する					
	10	【演習】マスタ編集アプリケーションを作成する					
	11	【演習】マスタ編集アプリケーションを作成する					
	12	【演習】マスタ編集アプリケーションを作成する					
	13	【演習】マスタ編集アプリケーションを作成する					
	14	【演習】マスタ編集アプリケーションを作成する					
	15	【演習】マスタ編集アプリケーションを作成する					
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	31						
	32						
	33						
	34						
	35						
	36						
	37						
	38						
	39						
	40						
評価方法	(1)授業の中で演習課題を4回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(演習)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	発表・作品		◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	Webデザイン演習						
科目名(英)	Web Design exercise						
単位数	4	時間数	60時間		担当者	山本 大輔	
実施年度	2019年度	実施時期	2019・後期		実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	システムエンジニア科 コンピュータシステム科 2年						
授業概要	前期の演習では、HTMLとCSSを使用した静的コンテンツを作成することを目的としてきたが、今回はjQueryや関連モジュールを利用してスライドショーやアニメーションなど動的なコンテンツの実装を行う演習を行う。						
授業形式	講義： △	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	△					Javascript基礎	
	○					jQueryの利用	
	○					jQueryのライブラリを使用したプログラミング	
	○					レスポンスWebデザイン	
	○					PC、スマートデバイス両対応したWebコンテンツの作成	
テキスト・教材 参考図書	シフトブレイン jQuery 最高の教科書 自作資料						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	jQueryの基礎知識			事前に教科書を読んでおく		
	2	jQueryの実行環境の準備			事前に教科書を読んでおく		
	3	サンプルコード作成(CSSのスタイル変更)			事前に教科書を読んでおく		
	4	サンプルコード作成(メソッドチェーン)			事前に教科書を読んでおく		
	5	サンプルコード作成(アニメーション)			事前に教科書を読んでおく		
	6	変数と配列、関数と無名関数			事前に教科書を読んでおく		
	7	演算子と制御文			事前に教科書を読んでおく		
	8	ホバーエフェクト			事前に教科書を読んでおく		
	9	画像とキャプションの表現			事前に教科書を読んでおく		
	10	見え隠れするサイドバー			事前に教科書を読んでおく		
	11	タイポグラフィ			事前に教科書を読んでおく		
	12	スライドショーの作成①			事前に教科書を読んでおく		
	13	スライドショーの作成②			事前に教科書を読んでおく		
	14	スティッキーヘッダー①			事前に教科書を読んでおく		
	15	スティッキーヘッダー②			事前に教科書を読んでおく		
	16	画面領域の変更を行うタブ			事前に教科書を読んでおく		
	17	スムーズスクロール			事前に教科書を読んでおく		
	18	拡張性のあるスムーズスクロール			事前に教科書を読んでおく		
	19	レスポンスWebデザイン①			事前に教科書を読んでおく		
	20	レスポンスWebデザイン②			事前に教科書を読んでおく		
	21	レスポンスWebデザイン③			事前に教科書を読んでおく		
	22	レスポンスWebデザイン④			事前に教科書を読んでおく		
	23	【演習】企業連携授業			出来ていない分は授業外で進めておく		
	24	【演習】企業連携授業			出来ていない分は授業外で進めておく		
	25	【演習】企業連携授業			出来ていない分は授業外で進めておく		
	26	【演習】企業連携授業			出来ていない分は授業外で進めておく		
	27	【演習】企業連携授業			出来ていない分は授業外で進めておく		
	28	【演習】企業連携授業			出来ていない分は授業外で進めておく		
	29	【演習】企業連携授業			出来ていない分は授業外で進めておく		
	30	【演習】企業連携授業			出来ていない分は授業外で進めておく		
	評価方法	(1)授業の中で演習課題を4回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(演習)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		○	◎				50%
発表・作品			◎		○		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	アプリケーション開発									
科目名(英)										
単位数	2		時間数		30時間		担当者		山本 大輔	
実施年度	2019年度		実施時期		2019・後期		実務家教員 担当科目		○	
対象学科・学年	コンピュータシステム科 システムエンジニア科 2年									
授業概要	PHPを使用したWebアプリケーションを構築しWebサーバー上に構築し簡易的なショッピングサイトを作成できることを目標とする。									
授業形式	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標				
	○					PHPの構文について理解する				
	○	○				Webサーバーについて知る、実際に動作させてみる				
		○				簡易的なショッピングサイトを作成する				
テキスト・教材 参考図書	自作資料(PowerPoint)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	PHPの文法を知る(変数と式)					事前に資料を読んでおくこと			
	2	PHPの文法を知る(制御文)					事前に資料を読んでおくこと			
	3	PHPの文法を知る(関数)					事前に資料を読んでおくこと			
	4	PHPの文法を知る(クラスの利用)					事前に資料を読んでおくこと			
	5	PHPの文法を知る(ファイルの操作)					事前に資料を読んでおくこと			
	6	Webサーバーの利用(Apacheの導入)					Apacheについて予習をしておくこと			
	7	Webサーバーの利用(Apacheの設定)					Apacheについて予習をしておくこと			
	8	Webサーバーの利用(アプリケーションの利用)					Apacheについて予習をしておくこと			
	9	【演習】簡易的なショッピングサイトの作成①					遅れている分は授業外で進めておく事			
	10	【演習】簡易的なショッピングサイトの作成②					遅れている分は授業外で進めておく事			
	11	【演習】簡易的なショッピングサイトの作成③					遅れている分は授業外で進めておく事			
	12	【演習】簡易的なショッピングサイトの作成④					遅れている分は授業外で進めておく事			
	13	【演習】簡易的なショッピングサイトの作成⑤					遅れている分は授業外で進めておく事			
	14	【演習】簡易的なショッピングサイトの作成⑥					遅れている分は授業外で進めておく事			
15	【演習】簡易的なショッピングサイトの作成⑦					遅れている分は授業外で進めておく事				
評価方法	(1)授業の中で演習課題を4回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(演習)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験	○	◎				50%			
	発表・作品		◎		○		50%			
履修上の注意										

科目名	データベース演習						
科目名(英)							
単位数	1		時間数	16時間		担当者	谷口 久美子
実施年度	2019		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	コンピュータシステム科2年 / システムエンジニア科2年						
授業概要	Accessのデータ作成やフォーム作成などの操作方法を学ぶ それを応用したデータ活用が出来るようになる						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
		○				Accessのデータ作成やフォーム作成などの操作方法を学ぶ	
		○				データ活用が出来るようになる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ACCESS 選択クエリ				課題が終わらない場合は、授業時間外で完成させる事	
	2	選択クエリ(演算フィールド/パラメータクエリ)				課題が終わらない場合は、授業時間外で完成させる事	
	3	アクションクエリについて(レポート作成)①				課題が終わらない場合は、授業時間外で完成させる事	
	4	アクションクエリについて(レポート作成)②				課題が終わらない場合は、授業時間外で完成させる事	
	5	アクションクエリ				課題が終わらない場合は、授業時間外で完成させる事	
	6	データの編集・インポート				課題が終わらない場合は、授業時間外で完成させる事	
	7	アクションクエリテスト				課題が終わらない場合は、授業時間外で完成させる事	
	8	教科確認テスト				課題が終わらない場合は、授業時間外で完成させる事	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
		※学習する分野の順番は、4月1日時点での予定					
評価方法	(1)毎回授業で扱うプリントや作文を提出し、添削後、評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎					50%
	宿題・レポート	◎			○		50%
履修上の注意	全授業回数の3分の2以上の出席を満たさないものは、評価しないものとする。						



科目名	一般教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	1		時間数	16時間		担当者	堀 伸二
実施年度	2019		実施時期	後期		実務家教員 担当科目	
対象学科・学年	コンピュータシステム科2年 / システムエンジニア科2年						
授業概要	就職試験における筆記の重要性は増しており、またその内容もSPI・CAB・GABなどといった様々な種類に分かれています。よって、この授業では、演習を通して多くの問題に触れることにより、就職試験の際、柔軟な対応ができるような知識や思考力を身につけることを目的とします。						
授業形式	講義： ○		演習：		実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					就職試験での筆記における頻出問題に対応できるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	試験によく出る一般常識問題集 学校から配布される就職試験対策の問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	確認テスト				数学・国語・地理・時事問題等を見ておく事。	
	2	数学-図形-				数学・国語・地理・時事問題等を見ておく事。	
	3	数学-様々な計算-と国語-数詞-				数学・国語・地理・時事問題等を見ておく事。	
	4	数学-速度算・通貨算-				数学・国語・地理・時事問題等を見ておく事。	
	5	数学-集合・組合せ-				数学・国語・地理・時事問題等を見ておく事。	
	6	模擬テスト				数学・国語・地理・時事問題等を見ておく事。	
	7	国語-漢字・慣用句-と数学検定3級の練習問題				数学・国語・地理・時事問題等を見ておく事。	
	8	国語-同音異義語・ことわざ-と数学検定3級の練習問題				数学・国語・地理・時事問題等を見ておく事。	
	※学習する分野の順番は、4月1日時点での予定						
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)授業の中で小テストを数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				80%
	小テスト	◎	◎				20%
履修上の注意	全授業回数の3分の2以上の出席を満たさないものは、定期試験は受験できないものとする。						

科目名	情報処理試験 特別講座Ⅱ(秋向) 基本情報技術者試験											
科目名(英)												
単位数	3単位			時間数		60時間		担当者		山本 大輔、中西 伸二		
実施年度	2019			実施時期		後期		実務家教員 担当科目		○		
対象学科・学年	システムエンジニア科2年 コンピュータシステム科2年 システムエンジニア科3年											
授業概要	基本情報技術者試験試験の合格を目標に、主に午後問題の解説を行う。											
授業形式	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる方法：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				基本情報技術者試験試験の合格を目標とする。						
テキスト・教材 参考図書	基本情報技術者試験試験過去問題(IPAのホームページより) 模擬試験											
授業計画	回数	授業項目・内容						授業外学修指示				
	1	基本情報技術者試験 過去問対策(H31年春)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	2	基本情報技術者試験 過去問対策(H31年春)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	3	基本情報技術者試験 過去問対策(H31年春)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	4	基本情報技術者試験 過去問対策(H30年秋)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	5	基本情報技術者試験 過去問対策(H30年秋)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	6	基本情報技術者試験 過去問対策(H30年秋)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	7	基本情報技術者試験 過去問対策(H30年春)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	8	基本情報技術者試験 過去問対策(H30年春)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	9	基本情報技術者試験 過去問対策(H30年春)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	10	基本情報技術者試験 模擬試験(Itec午後)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	11	基本情報技術者試験 模擬試験(Itec午後)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	12	基本情報技術者試験 模擬試験(Itec)-1 解説						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	13	基本情報技術者試験 模擬試験(Itec)-2 解説						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	14	基本情報技術者試験 過去問対策(H29年秋)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	15	基本情報技術者試験 過去問対策(H29年秋)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	16	基本情報技術者試験 過去問対策(H29年秋)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	17	基本情報技術者試験 過去問対策(H29年春)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	18	基本情報技術者試験 過去問対策(H29年春)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	19	基本情報技術者試験 過去問対策(H29年春)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	20	基本情報技術者試験 模擬試験(TAC午前)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	21	基本情報技術者試験 模擬試験(TAC午前)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	22	基本情報技術者試験 模擬試験(TAC午後)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	23	基本情報技術者試験 模擬試験(TAC午後)-4						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	24	基本情報技術者試験 模擬試験(TAC)-1 解説						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	25	基本情報技術者試験 模擬試験(TAC)-2 解説						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	26	基本情報技術者試験 模擬試験(TAC)-3 解説						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	27	基本情報技術者試験 模擬試験(TAC)-4 解説						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	28	基本情報技術者試験 過去問対策(H28年秋)-1						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	29	基本情報技術者試験 過去問対策(H28年秋)-2						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
	30	基本情報技術者試験 過去問対策(H28年秋)-3						前回解いた問題を、もう1度解いておくこと				
		※授業内容は、4月1日時点での予定										
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験		◎		◎						80%	
	平常点(ミニテスト)		◎		◎						20%	
履修上の注意	自宅で必ず復習(今日解いた問題の見直し)を行うこと。											

科目名		情報処理試験特別講座(秋向) 応用情報技術者										
科目名(英)												
単位数		4単位		時間数		60時間		担当者		國房 篤子		
実施年度		2019年度		実施時期		後期		実務家教員 担当科目		○		
対象学科・学年		システムエンジニア科2,3年, コンピュータシステム科2年										
授業概要		応用情報技術者試験の問題を通して、システムエンジニアに必要な知識や技能を身に付ける。										
授業形式		講義: ○		演習:		実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)		言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標					
		○	○				テクノロジ系の知識を身に付け、午前・午後問題を解けるようになる。					
		○	○				マネジメント系の知識を身に付け、午前問題を解けるようになる。					
		○	○				ストラテジ系の知識を身に付け、午前問題を解けるようになる。					
テキスト・教材 参考図書												
授業計画		回数	授業項目・内容					授業外学修指示				
		1	ミニテスト(H29春～H30秋の問題)、午後問題の概要					授業で解いた問題を理解し覚えるまで復習				
		2	H30秋の午後問題の間1を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		3	H30秋の午後問題の間3を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		4	H30秋の午後問題の間4を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		5	H30秋の午後問題の間5を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		6	H30秋の午後問題の間6を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		7	H30秋の午後問題の間7を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		8	H30秋の午後問題の間8を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		9	H30春の午後問題の間1を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		10	H30春の午後問題の間3を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		11	H30春の午後問題の間4を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		12	H30春の午後問題の間5を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		13	H30春の午後問題の間6を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		14	H30春の午後問題の間7を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		15	H30春の午後問題の間8を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		16	模擬試験を解く					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		17	模擬試験を解く					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		18	模擬試験の解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		19	模擬試験の解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		20	H29秋の午後問題の間1.5を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		21	H30春の午後問題の間3を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		22	H30春の午後問題の間4.7を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		23	H30春の午後問題の間6を解き、解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		24	模擬試験を解く					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		25	模擬試験を解く					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		26	模擬試験の解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		27	模擬試験の解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		28	H31春の午後問題を解く					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		29	H31春の午後問題を解く					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
		30	H31春の午後問題の解説					授業で解いた問題を理解し解けるまで復習				
			※学習する内容・分野の順番は、4月1日時点での予定									
評価方法		成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
				言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
		定期試験(国家試験)		◎	◎				80%			
		模擬試験とミニテスト		◎	◎				20%			
履修上の注意		出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。										